



家庭の味を再現した
レトルトも人気！



地元の高校や調理専門学校で
非常勤講師を勤め、若者の育成
にも貢献している井上調理長。

但馬の隠れた逸品 Ippin

vol.11 湯村のじゃぶ煮 (新温泉町)

古くから伝わる郷土の味
伝統のおもてなし料理で
心も体もぽっかぽか



白菜や人参、きのこ類などの地元野菜をふんだんに使って彩りも◎
井づつやでは、いろいろでじっくり煮込んだ田舎の味を堪能できる。



■(取材協力) 湯村温泉 佳泉郷 井づつや

【所】兵庫県美方郡新温泉町湯 1535

【問】0796-92-1111

*個室料亭プラン 旬菜魚茶寮「但馬」で楽しむことができます。

詳しくは公式ホームページへ。(http://www.izutuya.com)

また、井づつやははじめ町内のお土産店で、地元の加工グループ「すずしろグループ」が作るレトルトパックも販売している。

山陰の名湯・湯村温泉。ここ湯村には、寒い冬にぴったりの地元の郷土料理「じゃぶ煮」がある。「じゃぶ」とは、野菜を煮込んでいるうちに水分が出てきて「じゃぶじゃぶ」してくるというに由来しており、特に八田・照来といった山深い地区では、昔からお祭りやお盆などで人が集まる時にふるまわれてきた。鶏肉と茶こんにゃく、豆腐、玉ねぎ、ごぼうなどの具材を醤油ベースで炊いており、素朴な味わいが広がる伝統的な家庭料理だ。

「具たくさんで当時は鶏肉も貴重な食材でしたし、特別な時にしか食べることのできない贅沢なご馳走でした。小さい頃のうれしい思い出です」とは、『湯村温泉 佳泉郷 井づつや』営業部長の杉山孝範さん。八田地区の出身で、幼い頃からじゃぶには慣れ親しんで育ったという。

「地域や家庭によっては牛肉や豚肉を入れるところもあり、それぞれに家庭の味がありましたね」と、当時を思い出して語ってくれた。湯村温泉観光協会では「じげ(地元)のうまいもん発掘事業」を立ち上げ全国にPRしており、井づつやでもじゃぶ煮を味わうことができる。『兵庫の匠』に認定されている井上調理長が作り出すこだわりの逸品だ。

モチ期到来。

但馬国統一
検索

遊A亭

株式会社 但馬寿

ホームページ <http://www.kuromamecha.com>

遊月亭
検索

"さびない身体"をつくる長寿の湯

蟹プラン開始!

11月~3月

季節の旬や但馬牛を贅沢に使用したお料理のおもてなし

佳泉郷
井づつや
Izutsuya

〒669-6821 兵庫県美方郡新温泉町湯 1535
TEL.0796-92-1111 FAX.0796-92-2133

湯村温泉 井づつや
検索

松葉全席

かにすぎ会席

伝承の地を訪ねて

淀の大王「豊岡市竹野町」



神秘と迫力！崖にいた大きな穴 大鬼が住み着いた「淀の大王伝説」

山陰海岸ジオパークの名所が点在する豊岡市竹野町。海岸線にある「はさかり岩」の展望所から東を眺めると、崖にぽつかりとあった大きな洞門「淀の洞門」を見ることが出来る。

幅約25メートル、高さ15メートル、奥行き40メートル。火山活動でできた地層や、洞門の天井に断層を観察することができ、山陰海岸ジオパークの貴重なスポットとしても知られている大きな洞門だ。ここには「淀の大王」と呼ばれる鬼が住んでいたという伝説が残っている。

大昔、この洞門を住処にしていた「淀の大王」を首領とする鬼の集団が、日々悪さをし良民を苦しめていた。そんな噂を聞きつけ、出雲に帰る途中に村へ立ち寄ったスサノオノミコト。鬼たちを征伐し、村には再び平和が戻ったそう。

スサノオノミコトは洞門の向かいに船を止め、鬼を退治。陸路を奥須井地区まで向かい、村では牛頭大王として奉られた。乗り捨てられた船はそのまま岩になったといわれている。

村では、切浜海水浴場西端の細長い島を「御舟」、沖合の二つの岩礁を「沖の錨」と「灘の錨」、砂浜にある島を「錨綱」、奥須井に向かう陸路を「祇園」と呼び親しんでいるそう。

淀の洞門に近づいてみると、スケールの大きさに圧倒される。洞門内部には波が押し寄せては返し、穴の向こう側には水平線が見える。薄暗い洞門内から見える海と空の青が美しく、ダイナミックな自然を体感することが出来る。大昔に鬼がいたのでは、と、感じてしまうほどの神秘的なパワーと迫力をぜひ味わってほしい。

参考：近畿自然歩道 環境省・兵庫県



淀の洞門

切浜海岸の北東に位置する幅約25m・高さ15m・奥行き40mの洞門。日本海の荒波に侵食されてできたもの。山陰海岸ジオパークのスポットとして親しまれている。

◆豊岡市竹野町切浜



*波が高い時は危険ですので、注意して観察しましょう。

二十歳の記念

凛と可愛く。お嬢様の笑顔がこぼれる。
その瞬間を、心を込めてお手伝いいたします。

◆あつらえ振袖

◆振袖 Re スタyling相談(受継ぐ振袖)

着付けヘアメイク撮影こだわりサポート お気軽にお問い合わせください。



2014 keitani
styling

ふりそで



KIMONO SALON KEITANI

〒668-0084 兵庫県豊岡市福田 1887-1
TEL 0796-24-9239 FAX 0796-24-0185
mail: kimonosalon@nkansai.net

